

鵬林が仮想店舗開設

3D活用 来店感覚で商品選び



鵬林が自社サイトに開設したバーチャル店舗

店内をそのまま仮想現実の販売店を運営。新月1日から運用して実化。パソコンやスマートフォンを使って、型コロナの影響で、倉庫の来店だけでも11月の

仏具販売などの鵬林（倉敷市笹沖）は、最も来店だけでも11月の

新3D技術を活用したの店内を自在に移動で3割減少したという。顧客と

バーチャル店舗を自社のインターネットサイ客足の回復につながら

のインターネットサイ客足の回復につながらすツールとして活用し

ト内に開設した。新型な角度から見られ、計ばと、電通西日本岡山

コロナウイルス禍で外測ツールを使えば、寸支社（岡山市北区磨屋

出しづらい状況が続く法も調べられる。決済町）に制作を依頼。11

中、商品選びの参考に機能はなく、購入にはいる。（西平亮）

してもらい、来店時の来店や電話での注文

滞在時間短縮につなげが必要となるが、希望

る。すればスタッフが自宅

バーチャル店舗は、を訪問し、相談に応じ

同社の販売店・ほつり

る。同社は岡山県内4カ

ん倉敷本店（同所）の

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。